



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日
東

上場会社名 株式会社阿波銀行 上場取引所
コード番号 8388 URL <https://www.awabank.co.jp/>
代表者(役職名) 取締役頭取 (氏名) 福永 文久
問合せ先責任者(役職名) 取締役経営統括部長 (氏名) 豊田 晃 (TEL) 088-623-3131
配当支払開始予定日 —
特定取引勘定設置の有無 無
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	70,291	20.6	16,958	24.5	12,180	21.9
2025年3月期第3四半期	58,272	2.3	13,616	5.4	9,985	10.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 55,524百万円(157.9%) 2025年3月期第3四半期 21,529百万円(△33.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	310.91	—
2025年3月期第3四半期	249.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,148,926	383,857	9.2
2025年3月期	4,024,901	334,216	8.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 383,857百万円 2025年3月期 334,216百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	50.00	95.00
2026年3月期	—	60.00	—		
2026年3月期(予想)				70.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2026年3月期 期末配当金(予想)の内訳 普通配当 60円00銭 創業130周年記念配当 10円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	94,200	19.2	21,300	19.2	15,000	13.6
						384.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	40,000,000株	2025年3月期	40,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	948,267株	2025年3月期	409,180株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	39,174,474株	2025年3月期3Q	39,959,369株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料につきましては、当第3四半期決算短信に添付しております。

【添付資料】

〔目次〕

1. 経営成績等の概況	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(表示方法の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10
3. 2026年3月期 第3四半期 決算説明資料	
(1) 損益状況 (単体)	11
(2) 預金・預かり資産の状況 (単体)	12
(3) 貸出金の状況 (単体)	13
(4) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示 (単体)	14
(5) 時価のある有価証券の評価差額 (連結)	15
(6) 自己資本比率 (国内基準)	15

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
- ただし、3.(4) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示の記載金額、比率については、単位未満を四捨五入しております。

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日至2025年12月31日）の経営成績について、経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金が増収となったことなどから、前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日至2024年12月31日）比120億19百万円増収の702億91百万円となりました。

また、経常費用は、預金利息の増加などから、前第3四半期連結累計期間比86億76百万円増加の533億33百万円となりました。

この結果、経常利益は、前第3四半期連結累計期間比33億42百万円増益の169億58百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間比21億94百万円増益の121億80百万円となりました。

セグメントの業績につきましては、銀行業の経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金が増収となったことなどから、前第3四半期連結累計期間比109億71百万円増収の571億17百万円となりました。また、経常利益は、前第3四半期連結累計期間比30億62百万円増益の163億74百万円となりました。

リース業の経常収益は、リース売上高等の増収から、前第3四半期連結累計期間比11億2百万円増収の135億2百万円となりました。また、経常利益は、前第3四半期連結累計期間比2億80百万円増益の5億84百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末(2025年12月31日)における財政状態について、総資産額は、前連結会計年度末(2025年3月31日)比1,240億円増加し、4兆1,489億円となりました。また、純資産額は、前連結会計年度末比496億円増加し、3,838億円となりました。

譲渡性預金を含めた預金は、個人預金が増加したことなどから、前連結会計年度末比383億円増加し、3兆4,340億円となりました。

貸出金は、事業性貸出金が増加したことなどから、前連結会計年度末比355億円増加し、2兆4,936億円となりました。

有価証券は、安全性・流動性を重視しつつ効率的な運用に努めた結果、前連結会計年度末比1,010億円増加し、1兆1,365億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績につきましては、銀行単体において、貸出金利息の増収などにより資金利益が前回発表予想を上回る見込みであることなどから、2025年11月14日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたします。

《 2026年3月期 》

連結業績予想

	経常収益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	89,000	20,800	14,500	371.30
今回発表予想(B)	94,200	21,300	15,000	384.10
増減額(B-A)	5,200	500	500	—
増減率(%)	5.8	2.4	3.4	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	78,964	17,861	13,202	330.88

(参考)

個別業績予想

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	70,500	20,400	14,500	371.30
今回発表予想(B)	75,600	20,900	15,000	384.10
増減額(B-A)	5,100	500	500	—
増減率(%)	7.2	2.4	3.4	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	61,693	17,403	13,185	330.44

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
現金預け金	427,652	396,698
有価証券	1,035,528	1,136,568
貸出金	2,458,031	2,493,609
外国為替	6,622	8,194
リース債権及びリース投資資産	34,362	36,291
その他資産	30,737	46,539
有形固定資産	38,515	38,901
無形固定資産	3,919	3,515
繰延税金資産	285	285
支払承諾見返	8,613	8,105
貸倒引当金	△19,367	△19,782
資産の部合計	4,024,901	4,148,926
負債の部		
預金	3,268,192	3,282,313
譲渡性預金	127,504	151,760
コールマネー及び売渡手形	8,223	—
債券貸借取引受入担保金	8,671	—
借入金	190,854	209,682
外国為替	55	70
社債	437	400
その他負債	45,003	59,337
賞与引当金	24	—
役員賞与引当金	61	48
役員退職慰労引当金	5	9
従業員株式報酬引当金	—	233
役員株式報酬引当金	452	589
睡眠預金払戻損失引当金	90	68
偶発損失引当金	1,379	1,521
繰延税金負債	28,550	48,365
再評価に係る繰延税金負債	2,562	2,562
支払承諾	8,613	8,105
負債の部合計	3,690,684	3,765,069

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
資本金	23,452	23,452
資本剰余金	20,106	20,106
利益剰余金	204,879	212,673
自己株式	△1,183	△2,682
株主資本合計	247,254	253,550
その他有価証券評価差額金	76,171	113,698
繰延ヘッジ損益	6,162	11,979
土地再評価差額金	4,628	4,628
その他の包括利益累計額合計	86,962	130,306
純資産の部合計	334,216	383,857
負債及び純資産の部合計	4,024,901	4,148,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
経常収益	58,272	70,291
資金運用収益	34,213	41,340
(うち貸出金利息)	20,260	23,796
(うち有価証券利息配当金)	13,368	16,193
役務取引等収益	7,937	8,233
その他業務収益	12,708	13,574
その他経常収益	3,414	7,143
経常費用	44,656	53,333
資金調達費用	5,236	7,740
(うち預金利息)	1,314	4,528
役務取引等費用	878	1,207
その他業務費用	12,486	17,878
営業経費	23,493	24,085
その他経常費用	2,561	2,421
経常利益	13,616	16,958
特別利益	0	21
固定資産処分益	0	21
特別損失	165	71
固定資産処分損	38	23
減損損失	126	48
税金等調整前四半期純利益	13,451	16,908
法人税等	3,465	4,728
四半期純利益	9,985	12,180
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,985	12,180

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	9,985	12,180
その他の包括利益	11,543	43,344
その他有価証券評価差額金	9,102	37,527
繰延ヘッジ損益	2,441	5,816
四半期包括利益	21,529	55,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,529	55,524

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の処理

税金費用につきましては、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

また、一部の連結子会社の税金費用は、税引前四半期純利益に前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じることにより算定しております。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

当連結会計年度から導入した従業員株式報酬制度の運用開始に伴い、前連結会計年度において、「負債の部」に「株式報酬引当金」として表示していた役員を対象とする株式報酬引当金は、従業員を対象とする従業員株式報酬引当金と明確に区分するため、第1四半期連結会計期間より「役員株式報酬引当金」に科目名を変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の科目名を変更しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	銀行業 (百万円)	リース業 (百万円)	計 (百万円)		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	45,987	12,285	58,272	—	58,272
セグメント間の内部経常収益	158	114	272	△272	—
計	46,145	12,399	58,544	△272	58,272
セグメント利益	13,311	303	13,615	1	13,616

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っており、また、セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間の取引により発生したものであります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

銀行業において、営業利益の減少によるキャッシュ・フローの低下及び地価の下落した事業用資産等並びに移転・建替えの決定に伴い除却を予定している資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額126百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	銀行業 (百万円)	リース業 (百万円)	計 (百万円)		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	56,903	13,388	70,291	—	70,291
セグメント間の内部経常収益	213	113	327	△327	—
計	57,117	13,502	70,619	△327	70,291
セグメント利益	16,374	584	16,958	0	16,958

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っており、また、セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間の取引により発生したものであります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

銀行業において、営業利益の減少によるキャッシュ・フローの低下及び地価の下落した事業用資産等並びに移転・建替えの決定に伴い除却を予定している資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額48百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）の償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)
減価償却費	2,242百万円	2,163百万円

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当行は、2026年1月27日開催の取締役会において、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行及び株主への利益還元を図るため、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

- 取得する株式の種類 普通株式
- 取得する株式の総数 200,000株（上限）
- 株式の取得価額の総額 1,000百万円（上限）
- 取得期間 2026年2月4日から2026年3月18日まで
- 取得方法 東京証券取引所における市場買付

3. 2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

(1) 損益状況 (単体)

当第3四半期の業績について、コア業務純益は、資金利益が増益となったことなどから、前年同期比 38 億 88 百万円増益の 162 億 89 百万円となりました。

また、経常利益及び四半期純利益は、それぞれ同 31 億 56 百万円増益の 159 億 35 百万円、同 20 億 63 百万円増益の 114 億 76 百万円となりました。

なお、2026年3月期通期の業績予想は、貸出金利息の増収などにより資金利益が前回発表予想を上回る見込みであることなどから、今回修正しております。

				(単位: 百万円)
	2026年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2025年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	前年同期比 (A)-(B)	2026年3月期 通期業績予想 (進捗率)
経常収益	55,541	44,640	10,901	75,600 (73.4%)
業務粗利益(除く国債等債券関係損益)	38,732	34,290	4,442	
資金利益	33,675	29,031	4,644	
役務取引等利益	5,820	5,874	△ 53	
その他業務利益 (除く国債等債券関係損益)	△ 763	△ 615	△ 147	
経費(臨時処理分を除く)	22,443	21,888	554	
実質業務純益 (業務純益(一般貸倒引当金繰入前))	11,254	11,835	△ 581	
コア業務純益	16,289	12,401	3,888	21,900 (74.3%)
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	16,188	12,158	4,030	
一般貸倒引当金繰入額①	△ 228	△ 357	129	
業務純益	11,482	12,193	△ 710	
うち国債等債券関係損益②	△ 5,035	△ 565	△ 4,470	
臨時損益	4,453	586	3,866	
不良債権処理額③	2,147	2,133	14	
個別貸倒引当金繰入額	1,852	1,992	△ 139	
偶発損失引当金繰入額	141	△ 54	195	
その他の債権売却損等	153	195	△ 42	
償却債権取立益④	398	430	△ 31	
株式等関係損益⑤	6,320	2,388	3,932	
その他の臨時損益	△ 118	△ 98	△ 20	
経常利益	15,935	12,779	3,156	20,900 (76.2%)
特別損益	△ 65	△ 165	99	
四半期純利益	11,476	9,413	2,063	15,000 (76.5%)
有価証券関係損益(②+⑤)	1,285	1,822	△ 537	
実質与信費用(①+③-④)	1,521	1,346	174	

(2) 預金・預かり資産の状況 (単体)

① 預金の残高

譲渡性預金を含めた預金の残高は、前年同期(2024年12月末)比で、個人預金、法人預金及び公金預金いずれも増加し、同952億円の増加となりました。

	(単位：億円)			(参考)(単位：億円)	
	2025年12月末	2024年12月末比	2025年3月末比	2024年12月末	2025年3月末
預 金 (A)	32,876	791	153	32,085	32,722
譲渡性預金 (B)	1,557	161	242	1,396	1,315
総 預 金 (A)+(B)	34,433	952	396	33,481	34,037
うち個人預金	21,570	412	674	21,157	20,895
うち法人預金	9,638	395	△ 18	9,242	9,656
うち公金預金	2,823	148	△ 19	2,674	2,842

② 預かり資産の残高

預かり資産の残高は、個人年金保険等が前年同期比 52 億円、金融商品仲介業務における預かり資産残高が同 1,092 億円それぞれ増加しました。

	(単位：億円)			(参考)(単位：億円)	
	2025年12月末	2024年12月末比	2025年3月末比	2024年12月末	2025年3月末
当行 個人年金保険等	2,770	52	139	2,717	2,630
金融商品仲介業務における預かり資産残高合計	13,015	1,092	2,280	11,923	10,734
野村證券㈱仲介口座 (注1)	12,832	1,058	2,243	11,773	10,589
野村證券㈱以外の仲介口座 (注2)	182	33	37	149	145

(注1) 当行と野村證券㈱旧徳島支店からの移管口座の残高等を合算して記載しております。

(注2) 四国アライアンス証券㈱・大和証券㈱・㈱SBI証券を委託元とする金融商品仲介口座です。

(3) 貸出金の状況 (単体)

① 貸出金の残高

貸出金の残高は、個人ローンが前年同期比 50 億円減少しましたが、一般貸出金が同 962 億円増加し、全体では同 929 億円の増加となりました。

(単位：億円)				(参考)(単位：億円)	
	2025年12月末	2024年12月末比	2025年3月末比	2024年12月末	2025年3月末
貸出金 (末残)	24,960	929	391	24,030	24,568
一般貸出	19,792	962	567	18,830	19,225
地公体等	1,767	17	△ 135	1,749	1,902
個人ローン	3,399	△ 50	△ 40	3,450	3,439
うち住宅ローン	3,130	△ 63	△ 48	3,194	3,179

② 中小企業等貸出金残高の状況

中小企業等貸出金残高は、お客さまへの積極的な資金供給に努めたことなどから、中小企業貸出金残高が前年同期比 871 億円増加し、全体では同 820 億円の増加となりました。

中小企業等貸出金比率は、同 0.40 ポイント上昇し、77.89%となり、引き続き高い水準を維持しています。

(単位：億円)				(参考)(単位：億円)	
	2025年12月末	2024年12月末比	2025年3月末比	2024年12月末	2025年3月末
中小企業等貸出金残高	19,442	820	553	18,621	18,889
中小企業貸出金残高	16,043	871	593	15,171	15,449
個人ローン残高	3,399	△ 50	△ 40	3,450	3,439
中小企業等貸出金比率	77.89%	0.40	1.01	77.49%	76.88%

③ 地域別貸出金の状況

地域別貸出金の状況は、徳島県内 (前年同期比+59 億円)、関西地区 (同+208 億円)、徳島県以外の中四国 (同+354 億円) 及び関東地区 (同+307 億円) のいずれの地区においても増加となりました。

(単位：億円)				(参考)(単位：億円)	
	2025年12月末	2024年12月末比	2025年3月末比	2024年12月末	2025年3月末
徳島県内	13,026	59	△ 102	12,966	13,129
関西地区	4,871	208	186	4,663	4,685
徳島県以外の中四国地区	2,694	354	163	2,340	2,531
関東地区	4,367	307	144	4,059	4,222
合計	24,960	929	391	24,030	24,568

④ 信用保証協会付融資の状況

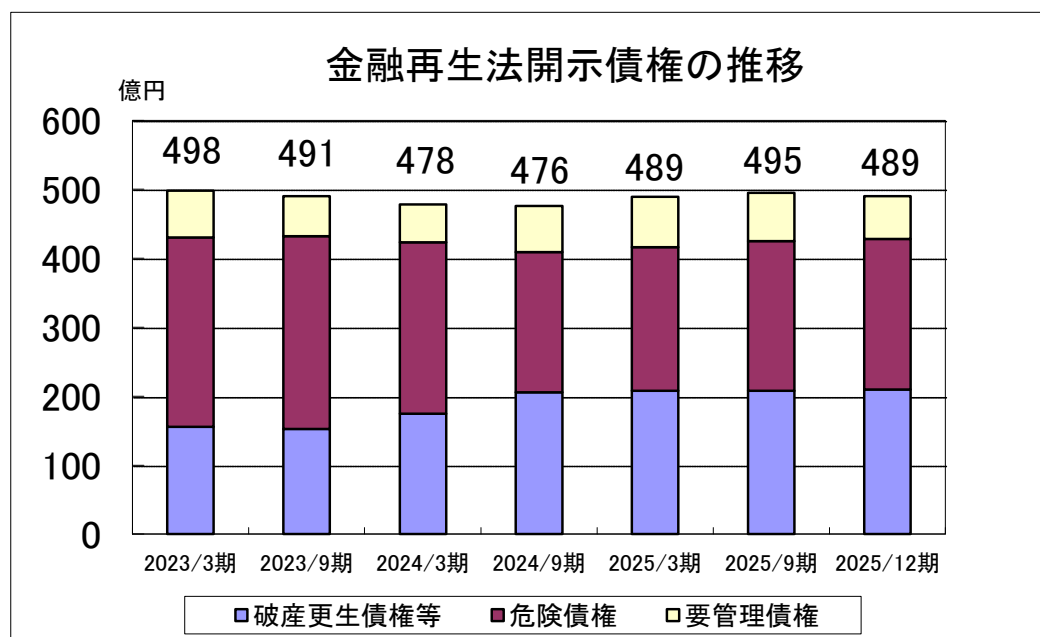
信用保証協会付融資残高は、前年同期比 8 億円減少し、2,540 億円となりました。

	(単位：億円)			(参考)(単位：億円)	
	2025年12月末	2024年12月末比	2025年3月末比	2024年12月末	2025年3月末
信用保証協会付融資残高	2,540	△ 8	△ 6	2,549	2,547

(4) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示(単体)

開示債権合計額は、前年同期比 8 億円増加し、489 億円となりました。一方、総与信残高に占める開示債権の比率は同 0.04 ポイント低下し、1.94%となりました。

	(単位：億円)			(参考)(単位：億円)	
	2025年12月末	2024年12月末比	2025年3月末比	2024年12月末	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	210	11	1	198	208
危険債権	218	△ 7	10	224	208
要管理債権	62	4	△ 11	58	73
開示債権合計	489	8	0	481	489
正常債権	24,724	905	392	23,819	24,332
総与信残高	25,213	914	392	24,300	24,822
総与信残高比	1.94%	△ 0.04	△ 0.03	1.98%	1.97%



(5) 時価のある有価証券の評価差額 (連結)

「その他有価証券」の評価差額は、株式及び投資信託の上昇などにより前年同期比 280 億円増加し、1,670 億円の評価益となりました。

(単位：億円)

(参考)(単位：億円)

	2025年12月末	2025年3月末比		2024年12月末	2025年3月末
		2024年12月末比	2025年3月末比		
その他有価証券	1,670	280	546	1,389	1,123
株 式	1,632	248	373	1,383	1,259
債 券	△ 546	△ 292	△ 173	△ 253	△ 373
そ の 他	584	324	346	259	237

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、評価差額は連結貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

2. なお、「満期保有目的の債券」及び「時価のある子会社・関連会社株式」の保有残高はございません。

(6) 自己資本比率 (国内基準)

自己資本比率 (国内基準・連結) は、前年同期比 0.25 ポイント上昇し、10.97%となり、引続き高い水準を維持しております。

【連結】

(単位：億円)

(参考)(単位：億円)

	2025年12月末	2025年3月末比		2024年12月末	2025年3月末
		2024年12月末比	2025年3月末比		
(1) 連結自己資本比率 ((2)/(3))	10.97%	0.25	0.29	10.72%	10.68%
(2) 連結における自己資本 の額	2,555	87	84	2,467	2,471
(3) リスク・アセットの額	23,288	275	158	23,013	23,129
(4) 連結総所要自己資本額 ((3)×4%)	931	11	6	920	925

【単体】

(単位：億円)

(参考)(単位：億円)

	2025年12月末	2025年3月末比		2024年12月末	2025年3月末
		2024年12月末比	2025年3月末比		
(1) 単体自己資本比率 ((2)/(3))	10.69%	0.28	0.26	10.41%	10.43%
(2) 単体における自己資本 の額	2,450	85	76	2,364	2,373
(3) リスク・アセットの額	22,915	217	167	22,697	22,748
(4) 単体総所要自己資本額 ((3)×4%)	916	8	6	907	909

以 上